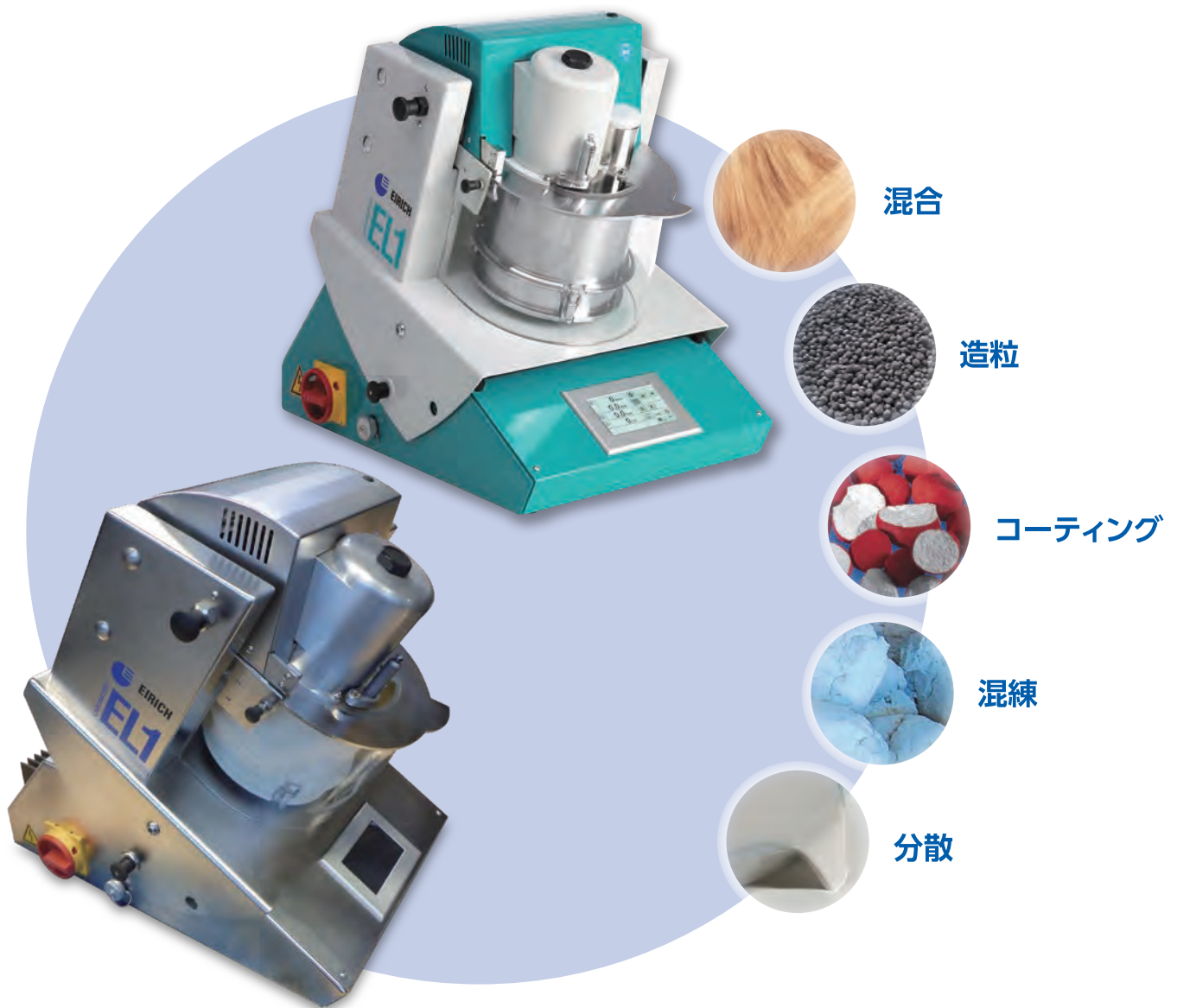


# アイリッチ インテンシブ ミキサー

## EL1型 ハイジエニック用 EL1-INOX型

さまざまな用途で使用が可能な1ℓミキサー



# 高性能で汎用性の高い インテンシブ ミキサー EL1型、EL1-INOX型

インテンシブ ミキサー EL1型、EL1-INOX型はアイリッヒ独自の混合原理の特長と利点のすべてを備えています。

## 優れた混合原理

### ■ 回転する混合パン

回転する混合パンが連続的かつ効率よく原料をロータ工具へ移動させることにより、混合パンとロータ工具の作用により高い速度差が生じ、原料が逆流し高剪断力が発生します。流動性が悪い原料等も処理が可能です。(アプリケーションによっては順流させます)

### ■ ツールセット

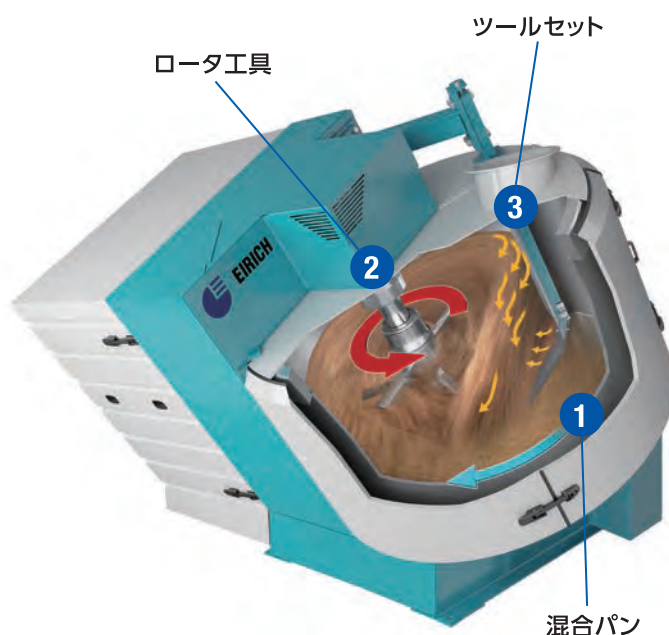
固定されたツールセットが垂直方向の流れを発生させるよう回転する混合パン内に配置してあります。パン表面の原料固着を防ぎ、混合サイクル終了時の排出を促進させます。

### ■ 効果

原料移動と原料処理の機構が分かれていることにより、ロータ工具の速度や混合物への投入動力を広範囲に変化させることができます。

## 特長

- 混合パンが一回転する毎に原料がすべて移動し、均一に混合
- 1本のロータ工具で得られる最適な混合効果
- 1台のミキサーでさまざまな粘性を持つ原料処理が可能
- 短時間の処理で質の高い混合を実現
- 用途に応じて鉄製、もしくはステンレス製フレームの選択が可能



## 混合システム

- 傾斜角度を持つ回転式の混合パン①および混合パンの回転中心に対し偏心した位置に配置されたロータ工具②が短時間で最適な処理をおこないます。混合パンの内壁面近くに固定されたツールセット③は内壁面の付着を防止し、混合パン内で原料移動を促進します。

## 機構



### ディスプレイに表示される操作データ

- 回転数/周速(混合パン、ロータ工具)
- 駆動用モータの実負荷電力(混合パン、ロータ工具)
- ロータ駆動用モータの温度
- 経過時間

### 重量/寸法

- 本体重量:46kg
- 寸法(蓋閉時):565D×410W×510Hmm  
(蓋開時):600D×410W×675Hmm

## ロータ工具



スタータイプ



ピンタイプ



## 攪拌造粒 応用事例(マイクログラニュレーション+微粒子コーティング)

独自の混合技術により、短時間で均一な造粒物を得ることができます。

### 特長

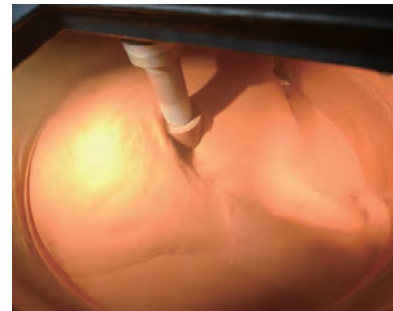
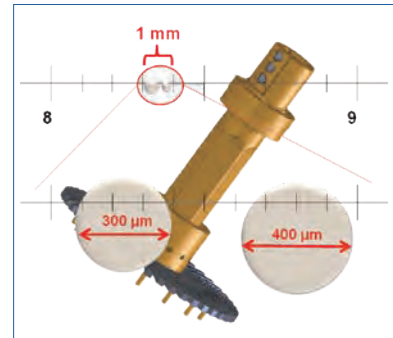
- シャープな粒度分布数100 $\mu\text{m}$ 中心径の造粒が可能
- 成分にムラがなく高密度な造粒が可能
- スプレッドライヤーと違いシンプルなシステムでOne-Pot Process化が可能
- 微粒子コーティング

### 用途例

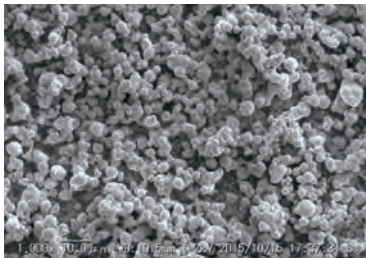
- プレス成型用中間体の製造
- 精密混合粒体の製造(食品、薬品)
- ナノ電子材料の造粒およびコーティング
- 数 $\mu\text{m}$ の単粒子コーティング

### 造粒の実例

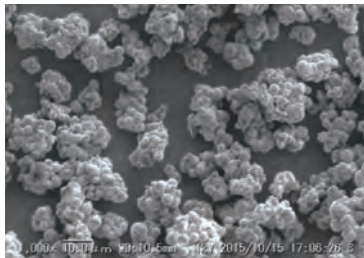
用途	原料	造粒サイズ
医薬・食品	糖類	150 $\mu\text{m}$
ガラス	ガラス原料	500 $\mu\text{m}$
電池材料	カーボン	1~2mm
肥料	化成肥料	2~4mm
電子材料	金属粉	30~100 $\mu\text{m}$ 以下



### 金属粉の造粒



原料



造粒物

## 標準仕様とオプション

### 標準仕様

- タッチパネル操作
- 鉄製、もしくはステンレス製フレーム
- 混合パンの傾斜角度調整機能 (0°,10°,20°,30°)
- 処理データを記録するUSBインターフェース
- 混合パン(容量1ℓ ポリアミド製)
- ロータ工具(スタータイプ 肉盛りなし)
- 入力電力範囲(100~240V)

### オプション

- ステンレス製混合パン
- ロータ工具
  - スタータイプ(肉盛りあり)
  - ピンタイプ(肉盛りあり・なし)
  - マイクログラニュレーション
- 温度測定装置
- 液体添加用ろうと
- ホースポンプを使用したスプレー装置
- 12種類の付属品(粉粒体添加用ろうと、計量用ビーカーなど)
- 付属品も収納可能なキャスター付輸送ケース



マイクログラニュレーション



# 日本アイリッヒ テクニカルセンターをご利用ください

日本アイリッヒ テクニカルセンターでは、各種試験設備および評価機器を用意しておりますので、各分野のさまざまな処理のご要求に対しテストが可能です。

下記へお問い合わせください。



- 東関東自動車道、成田ICまたは大栄ICから国道51号線経由約10分  
首都圏中央連絡自動車道、下総ICから県道79号線経由約10分
- JR成田駅、JR空港第2ビル駅または京成成田駅からタクシーで約15分

## The EIRICH GROUP worldwide:

-  **Maschinenfabrik Gustav Eirich GmbH & Co KG**  
Postfach 1160  
74732 Hardheim, Germany  
Phone: +49 6283 51-0  
Fax: +49 6283 51-325  
E-mail: eirich@eirich.de  
Internet: <http://www.eirich.com>
-  **Groupe Eirich France S.A.R.L.**  
Villaurbanne, France
-  **Eirich Impianti S.r.l.**  
Locate di Triulzi, Italy
-  **000 Eirich Maschinenteknik**  
Dnepropetrovsk, Ukraine
-  **Eirich Machines Inc.**  
Gurnee, IL, USA
-  **Eirich Industrial Ltda.**  
Jandira, Brazil
-  **Nippon Eirich Co., Ltd.**  
Nagoya, Japan
-  **Eirich Australia**  
Brisbane, Australia
-  **Eirich (Thailand) Co., Ltd.**  
Pathumthani, Thailand
-  **Eirich Group China Ltd.**  
Shanghai, P.R. China  
**Eirich Machinery Jiangyin (EMJ) Co., Ltd.**  
Jiangyin, Jiangsu Province, P.R. China
-  **Eirich India Pvt. Ltd.**  
Mumbai, India

## EIRICH 日本アイリッヒ株式会社

- 本社 〒451-0045 愛知県名古屋市西区名駅3-9-37 合人社名駅3ビル  
Tel 052-533-2577 Fax 052-533-2578  
Email : eigy@nippon-eirich.co.jp <http://www.nippon-eirich.co.jp/>
- 成田事業所/テクニカルセンター 〒287-0225 千葉県成田市吉岡1210 きちおか  
Tel 0476-73-5251 Fax 0476-73-5254
- 九州事業所 〒808-0109 福岡県北九州市若松区南二島4-9-1  
Tel 093-791-1131 Fax 093-791-0402
- アイリッヒ オーストラリア 4/119 Gardens Drive, Willawong, Qld 4110, Australia  
Eirich Australia Tel +61-(0)7-3272-3959